

サンガ通信

第8号

2016. 2. 発行

サンガとはサンスクリット語で「集い、団体」を意味する言葉です。

「サンガ」は、障がい者(児)とその家族、そしてボランティアに関心のある人のサロンです。

ハンディを持ちながらも頑張っている人をもっともっと応援したい。みんなに知ってもらいたい！

今回は「デフリンピック」世界大会にも出場している唐津出身の金持義和(かなじ よしかず)さんのお母様にお話を聞きました。



2015年第8回アジア太平洋ろう者競技大会
水泳100M背泳ぎ優勝！

義和さんのおばあさんと義和さん

金持義和(かなじよしかず)さんは、1歳の時に髄膜炎になり両耳が聞こえづらい状態になりました。水泳は幼少から続けていて高校時代にはインターハイを目標に頑張っていました。

そんな時に全国ろうあ者連盟から「デフリンピック」に出場してみないかと声をかけられました。2年前の2013年ブルガリアで開催された「デフリンピック」では、初参加出場水泳競技金メダル1個、銀メダル2個を見事に獲得されました。

当初、金持さんは「デフリンピック」というのが何なのかを知らませんでした。水泳連盟関係の知人たちにたずねても、そこでも情報を得ることはできませんでした。

「デフリンピック」とはどのような大会なのか、そして障がいを持つ人たちの競技レベルもわからないままで不安はとても大きかったのですがその後、コーチと共に合宿に参加。世界の水泳タイムを知って自分自身の目標となるタイムでもあると感じ「デフリンピック」に参加出場することを決断されたそうです。

私がお話を聞きながら感じたことは、世の中の「デフリンピック」の認知度が低いこと。そして健常者と同じように水泳競技をしていた彼が「デフリンピック」を受け入れることは大変なことだったのではないかと思います。その点をお母様にたずねると「心の中での葛藤がかなりあったようです」とのことでした。

彼は日々2年後の「デフリンピック」に向けて頑張っています！

皆さんで応援しましょう！ 文責sakai

「デフリンピック」は、聴覚障がい者だけのスポーツの祭典です。スポーツを通じて国際手話によるコミュニケーションで友好を深められるところ。障がい者であるろう者自身が運営し、ろう者のための国際的なスポーツ大会です。現在の加盟国は104カ国です。種目には、野球、陸上競技、卓球、水泳、サッカー、自転車などの競技があります。



●サロン「サンガ」は、毎週金・土・日の10時から15時までオープンしています。但し、第3金はお休みです。また都合で急きょお休みすることもあります。ホームページ(カレンダー)で、オープンの日を確認されるか、又はメール等でお問い合わせをお願いします。問い合わせ先は裏面をご覧ください。

3月 サンガオープン予定(10:00~15:00)

月	火	水	木	金	土	日
				4	5	6
唐津ひいな祭り2月20日~3月6日 呉服町通りイベント12日13日 ハンドタッチングケア13日				11	12	13
					19	
	22			25		27

4月 サンガオープン予定(10:00~15:00)

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
				8	9	10
			サンガ総会			17
				22	23	24
	26				30	

——「サンガ」へのメッセージ——
市内の事業者さんより
商店街へ行った際にはいつも気にかけて頂き
あたたかいお声掛けをありがとうございました。
ぜひ何か交流ができたらと思っています。

サンガ オープン予定日

基本的に週末オープンですが、都合により急きょお休みすることもあります。ホームページ(カレンダー)等でもご確認ください♪

2月 サンガオープン予定(10:00~15:00)

月	火	水	木	金	土	日
				5		
					13	
				26	27	28

第3回
D-1グランプリ開催5日~11日

「サンガ」の正面入り口を
工事いたします。
その間、ご迷惑をおかけします。

呉服町「サンガ」周辺のイベント紹介

- 第3回 D-1グランプリ(井まつり)が、2月5日から11日まで開催されます。3枚つづり1,800円
- 呉服町は、アーケードが撤去されています。また呉服町通りの道舗装が終わる3月12日13日は呉服町通りのイベントを開催します。「サンガ」もイベントに合わせオープンします。おでかけください。
- イスヨガは、定員を満たしております。問い合わせなどありましたら「サンガ」までお尋ねください。

【ボランティア求む】

☺ 「中途失聴者のつどい」を開催しています。当事者だけでなく、ボランティアをしたい方もお気軽にご参加ください(^^) 毎月第4火曜日午後からです。

☺ 見守りなどお手伝いのできる方を求めています。毎月1回の茶話会や親子での参加行事を開催しています。
Smile(スマイル) しょうがい児とその家族を応援する会

ボランティアを募集している団体やボランティアをしたい人は、「サンガ通信」を利用しませんか。問い合わせは、サロン「サンガ」へお願いします。

【仲間募集】

「サンガ」の活動に賛同して頂ける正会員・賛助会員及び団体を募集しています。詳しくはホームページ (<http://salon-sangha.jimdo.com>) をご覧ください。

【福祉豆知識】

デフリンピックとは。デフリンピックは、4年に1度、世界規模で行われる聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会です。国際ろう者スポーツ委員会(ICSD、CISS)が主催する障害者スポーツにおける最初の国際競技大会である。夏季大会と冬季大会があり、夏季大会は1924年にフランスで、冬季大会は1949年にオーストリアにおいて始まった。国際オリンピック委員会が「オリンピック」という名称の使用を許可しているのは、デフリンピック(Deaflympics)のほかに、パラリンピック(Paralympics)と、スペシャルオリンピックス(Special Olympics)がある。



シンボルマーク

【賛助団体・企業紹介】

麻生本家 のだ陶器店 hanalはな家 メディカルアロマ Lemongrass (株)アート・システム
唐津生コンクリート(株) (株)田代建設



発行責任者
障がい者情報・コミュニケーション サロン
「サンガ」代表 坂井由美子
唐津市呉服町1794番地 (〒847-0052)
TEL・FAX 0955-88-9025
HPアドレス <http://salon-sangha.jimdo.com>
E-Mail : salon.sangha@gmail.com



仲間の紹介

取材に行ってきました

福祉作業所 ピノキオ

就労継続支援B型



末盧(まつろ)館の近くに白い建物の「ピノキオ」さんがありました。午後の1時に訪問、利用者さんが笑顔で迎えてくれました。代表の坂本さんにお話をうかがいました。
「ピノキオ」さんは平成27年に設立したばかり、スタッフ6名と現在の利用者16名。BGMも流れた白くて明るい室内で、スタッフさん、利用者さんが作業をされていました。キラキラと輝いた笑顔でした。

作業内容は、ゴム手袋の袋詰、ICチップ組み立て、割り箸の袋入れとさまざまです。屋外での農作業やメール便の配達などもされています。
また、魚干物、手作りの小物、みかんなど物販販売もしており、ご近所さんが買い物に来てくれるそうです。イベントなどで積極的に外販をされています。是非、「ピノキオ」の名前を覚えていただき、買い物におでかけくださいね。(^^)



ゴム手袋袋詰

割り箸袋入れ

ICチップ組み立て



知っていますか4つの「オリンピック」

- ①オリンピック(健常者)
- ②デフオリンピック(聴覚障がい者)2017年(トルコで開催予定)
- ③パラリンピック(身体障がい者)
- ④スペシャルオリンピックス(知的発達障がい者)

4つのオリンピックがあり、4年に1度世界規模で行われる総合スポーツ競技大会で、夏季大会と冬季大会があります。



「要約筆記」とは

「手話」なら知っているけど、「要約筆記」は知らない人が多いと思います。あなたはご存じでしたか？
「要約筆記」は加齢や病気などの理由で、耳が聞こえなくなったり、耳が不自由になった人たちへ聞いたことを文字で伝える(情報を伝達する)ことです。
その作業(筆記通訳)をするのが要約筆記者と呼ばれる人たちです。
要約筆記依頼活動の場は、講演会、会議、授業、講習会など様々な公的な場所です。聞こえない人の耳代わりとなり筆記通訳をします。
いろんな道具を使い伝達の方法は様々ありますが、主に用紙やホワイトボードに文字を書いたり、また透明のフィルムロールと呼ばれる物に文字を書き機械(オーバーヘッドプロジェクター)を通じて写し出したり、パソコンを使って文字を打ち出したりします。

耳の不自由な人のために行政放送やピープルニュース放送に字幕が付いているのをご存知ですか？

唐津市にも「要約筆記」の活動をしているグループがあります。「唐津要約筆記の会」です。勉強会や定例会は「唐津市障がい者支援センターりんく」の2階、ボランティア活動室です。
手話を学んでいた人たちが、中途失聴難聴者に出会い手話だけでなく文字での情報提供も必要なことだと感じ平成8年にサークルを立ち上げられ、今年活動20年目です。
速記とは違います。速記は記号を読める人しか理解できません。私たちの日頃書いている文字での表記の仕方、話の内容を要約して書く方法など学びます。
パソコンタッチタイピングが得意な人、書くことが好きな人、関心がある人、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。

今年も4月下旬から短期間の「要約筆記の講座」が始まります。「障がい者支援センターりんく」に問い合わせください。

唐津市身体障害者福祉大会



唐津市人権同和講演会

身近な人が耳の聞こえが悪くて、なかなか話が伝わっていないと感じることがありますか？ また、コミュニケーション不足になってお互いがイライラしたり。

耳の聞こえない人がどんな問題を持ち、苦勞しているのかを判断する1つに下記の資料があります。身近な人がどのようなコミュニケーション手段を必要としているのかを考えてみませんか。

老年期			⑥
青年期		③	⑤
若年期	①	②	④
発生した時期 今何歳？	青年	成人	老人

①②は、手話をする人も多いですが、言語力があり文字での保障を求める人も多い。

③は、要約筆記を必要とする人が多い。

④は、手話を主に求める人が多い。

⑤⑥は、要約筆記を必要とする人が多い。手話習得に関する時間の問題。